



# CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!  
押してね😊

## 2020.06.01 第2号 ポストンの春・夏は、船に乗ろう!

アメリカ北東、マサチューセッツ州の州都であるボストン市は、池、川、海もあることから水上活動が多くあります。産業やスポーツの目的もあれば、観光やレジャーに向けた活動・乗り物もありますので、紹介したいと思います。春・夏にボストンを訪れた際には、是非とも乗ってみてください! ~ラブ国際交流員~



# Swan Boats スワンボート(白鳥船)



ボストン・パブリック・ガーデンの池に、この遊覧船が4月から9月まで運航しています。各船はお客さん用ベンチが5列か6列と、後部に大きな白鳥が付いています。その白鳥の翼の中に、船を動かす自転車の様なペダルが入っています。船の運転手さんが白鳥の後ろに座り、ペダルと舵を操りながら12分~15分程度で池を巡ります。

ボストンのスワンボートの始まりは1877年で、設計者・起業者はロバート・パジェットさんでした。当時自転車が発達している中、ペダルで動かせる双胴船を造りました。白鳥のイメージを選んだのは、白鳥が出るドイツのオペラ「ローエングリン」から動機を得たこと、またペダルを隠すこともできたからです。ロバートさんは翌年42歳で急逝されましたが、奥さんのジュリアさん、末男のジョンさん、そして、孫のポールさんが経営を続けました。

ボートは創設当時から少し大きくなりましたが、デザインはほとんど変わっていません。現在使われている船の中で、最も古いものは1910年に造られました。

Photo credit: "Swan Boats, 2013" by Ingfbruno, licensed under CC BY-SA 3.0  
<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>



# CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!  
押してね😊

2020.06.01 第2号 ポストンの春・夏は、船に乗ろう!

## DUCK BOATS ダックボート(カモ船)



アメリカの水辺の町で水陸両用車「ダックボート」を使ってツアーを行う会社が幾つもあります。その始まりは1946年ウィスコンシン州でしたが、都会での実施はボストンが最初でした。1994年からボストン・ダック・ツアーズという会社が、地上の観光地も巡り、チャールズリバーの川にも入って水上から自然も街並みも眺めるツアーを開催しています。最初は第二次大戦に実用された水陸両用車「DUKW」を使用しましたが、現在ボストンで使用しているのは現代化されたレプリカです。

ボストンとその地域のプロスポーツチームが優勝する際に、チームがダックボートに乗って市内を巡ってパレードをします。2002年の初アメフト優勝から、全スポーツを含めて今までなんと12回!

2010年に、故郷のウェイランド町の一部が洪水になった時に、ダックボート1艇が派遣されて、影響を受けた人をスクールバスみたいに通勤・通学などの手伝いをしました。(自分はその時日本に留学していて、実家には影響がなかったが、ニュースを聞いて感動しました!)